



とびっくす No.102

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

令和3年度秋季ヤマトシジミ資源量調査結果 ～漁獲サイズ資源は春季から変化なし、漁獲サイズ未満の小型貝 は個体数、重量とも減少傾向～

水産技術センター内水面浅海部では、毎年6月(春季)と10月(秋季)に宍道湖に生息するヤマトシジミ(殻長2mm以上)の資源量を推定するための調査を行っています。今年度の秋季調査を10月7日・8日・9日に実施しましたので結果を報告します。

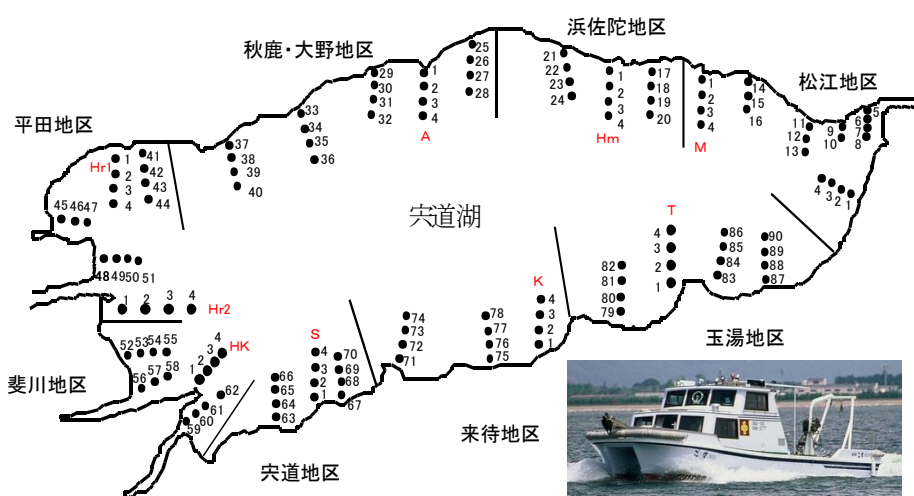


図1 調査地点

調査船「ごず」

調査方法

図1に示す調査定点(126ヶ所)において調査船「ごず」を使用し、スミス・マッキンタイヤ採泥器で各定点2回(面積0.1㎡)、湖底の砂泥と一緒にヤマトシジミを採集しました。採集した砂泥サンプルは、フルイでサイズ別に選別し、生息密度と水深別の漁場面積から宍道湖全体の資源量を算出しました。

調査結果および考察

令和3年秋季のヤマトシジミの資源量(表1)は約3万6千3百トン、608億個が生息していると推定されました(本年春季は約3万8千4百トン)。本年春季の調査結果と比べると、約2,100トン(5.5%)減少していましたが、昨年秋季(約3万9千トン)からほぼ同水準(図2)で推移しています。しかし成長に伴って春から秋にかけて増加することがほとんどであるシジミの資源量に、本年は増加が見られず、夏季の生残が思わしくなかったことがうかがえます。

表1 ヤマトシジミの資源量

サイズ		重量 (トン)	個体数 (億個)
未成貝	殻長12mm未満	4,239	403
成貝	殻長12mm以上17mm未満	11,169	120
	殻長17mm以上(漁獲対象)	20,905	85
	成貝合計	32,074	205
全資源量		36,313	608

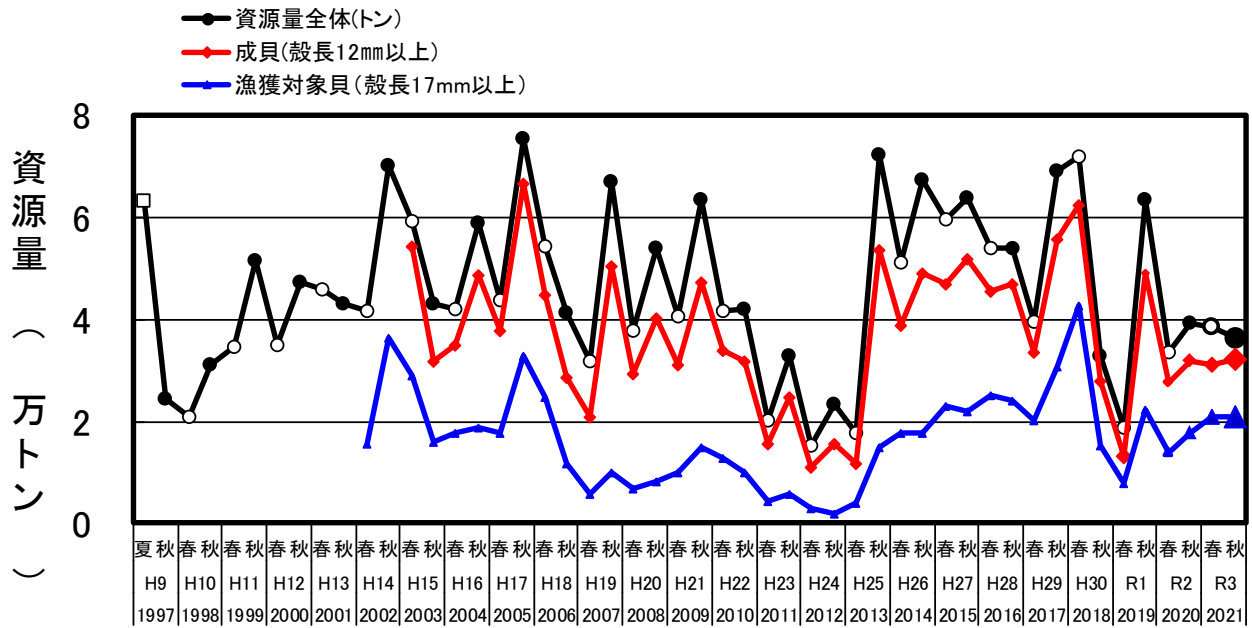


図2. 宍道湖のヤマトシジミ資源量の推移

内訳をみると、漁獲対象である殻長 17 mm 以上は、約 2 万 1 千トン、85 億個でした。これは、平成 14 年に詳細な資源量調査を開始して以降の、秋季資源量の過去 19 年平均値（約 1 万 7 千 5 百トン）の 120% でしたが、本年春季（約 1 万 8 千トン）と比較すると 117% で、例年大きく増加する春季から秋季にかけての変化はわずかなものでした。また殻長 12~17mm 未満の漁獲対象に達していない成員についても、本年春季（約 1 万 1 千 2 百トン）からほとんど変化なく、殻長 12mm 未満の未成員では約 4 千 2 百トンと、本年春季（約 7 千 3 百トン）の 58% と大きく減っていました。

今後の見通し

今季の資源量は、漁獲対象資源については大きな変化がなく高水準を保っていたものの、本年春季からの増加がほとんどありませんでした。また、殻長 12mm 未満の未成員については大きく密度が低下しており、夏季の減耗が大きかったことが示唆されます（図 3）。

今後、冬季の成長停滞や鳥による捕食などにより資源の減少が懸念されるところです。

引き続き資源動向を注視するとともに、漁獲対象資源の計画的な利用や、未成員資源の保護にむけた生育場の管理に取り組むことが必要と考えられます。

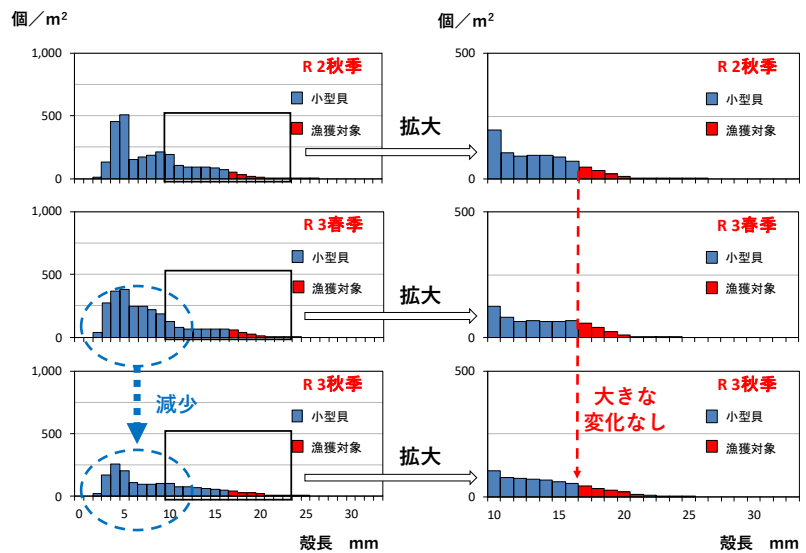


図3. 宍道湖全体のヤマトシジミの拡張組成 (R2年秋季からR3年秋季：全調査地点の平均)

島根県水産技術センター

島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1

TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079

ホームページ: <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp